

# 副市長レビュー（秋）調書

1 部局名 (課名)	産業部 (エネルギー政策課) 危機管理監 (危機管理課) 環境部 (環境政策課)		
2 協議事項 (案件名)	「自立・分散型エネルギー」による地域拠点の BCP 強化と低炭素化を同時実現する地域モデルの構築について		
3 背景・現状 (現状把握できる統計数値など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パリ協定等をふまえ、脱 CO2 の動きが世界レベルで加速化している。</li> <li>・化石燃料に代わる再生可能エネルギーの導入に関しては、市として更なる拡大を目指しつつ、これまでのエネルギーを「売る」時代から「自ら賢く使う」時代への対応に転換する必要がある。</li> <li>・近年の大災害等の非常時における電源確保は、昨年度、台風 24 号の影響により大停電が発生した本市においても、積極的に取り組むべき課題となっている。</li> </ul>		
4 検討経過・課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・平常時における再生可能エネルギーの地産地消と環境負荷低減、非常時における BCP 強化については、自治体自らも率先して再生可能エネルギーの活用を進める必要がある。</li> <li>・これまで、関係課がそれぞれ公共施設への設備導入等を進めてきたが、設備の導入には経費もかかり、各課単体での対応には財源的にも限界がある。</li> <li>・国においては、災害に強い地域づくりを推進するため「防災・減災、国土強靱化のための 3 カ年緊急対策（平成 30 年 12 月閣議決定）」に基づき、平時の温室効果ガス排出を抑制すると同時に、災害時の避難施設等へのエネルギー供給整備等の緊急対策を実施している。</li> </ul>		
5-1 方向性の提案 (目指すべき姿)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の拠点である協働センターを中心とした創エネ・蓄エネ設備等の導入と LED 化の加速</li> <li>・「自ら賢く使う」次世代エネルギーモデルの構築と展開</li> </ul>		
5-2 上記の方向性決定に向け議論する事項 (妥当性、必要性、有効性など)	<ul style="list-style-type: none"> <li>①事業の実施について</li> <li>②設備導入の対象施設について</li> </ul>		
6 結果	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%; vertical-align: top;"> <ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 提案どおり進める</li> <li><input type="checkbox"/> 提案内容を一部見直して進める</li> <li><input type="checkbox"/> 再度、調査研究等を行い検討</li> <li><input type="checkbox"/> その他</li> </ul> </td> <td style="width: 40%; vertical-align: top;">                     具体的内容                 </td> </tr> </table>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 提案どおり進める</li> <li><input type="checkbox"/> 提案内容を一部見直して進める</li> <li><input type="checkbox"/> 再度、調査研究等を行い検討</li> <li><input type="checkbox"/> その他</li> </ul>	具体的内容
<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="checkbox"/> 提案どおり進める</li> <li><input type="checkbox"/> 提案内容を一部見直して進める</li> <li><input type="checkbox"/> 再度、調査研究等を行い検討</li> <li><input type="checkbox"/> その他</li> </ul>	具体的内容		
7 その他			